

たいとう区議会だより



No. 172

平成23年1月1日発行

新年特集号

編集 議会報編集委員会 発行 東京都台東区議会

〒110-8615 台東区東上野4-5-6 ☎03(5246)1472・1473

<http://www.city.taito.lg.jp/index/kugikai/index.html>

賀 春



(公財)東京動物園協会 提供

新春のご挨拶

台東区議会議長 鈴木 茂



明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、台東区議会を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。

東京スカイツリーがその高さを増すとともに、台東区内でスカイツリーが展望できる場所は、工事中にも関わらずどこも賑わいを見せ、この1年で台東区全体が以前にも増して活気に満ちてきました。

一方で、我が国の景気は、依然として足踏み状態にあり、その影響は、生活保護の急増など、区政に大きな影を落としております。

台東区的生活保護率は23区の中で最も高く、また厳しい財政状況の中で、生活保護費の平成22年度一般会計予算に占める割合は、2割を超えるまでとなりました。

このように厳しい状況ではございますが、去年は高齢福祉、障害福祉の新たな拠点として「福祉プラザ台東清峰会」のオープン、「小島保育室」の開設や「いっとき保育」サービスの展開、さらに「新観光ビジョン」の策定、「したまち演劇祭」や「藝大・台東・墨田観光アートプロジェクト」の実施など、福祉、子育て、観光をはじめ、様々な分野で充実を図ってまいりました。

これも区民の皆様の区政に対するご理解とご協力、そして

何よりも信頼の賜物と心より感謝を申し上げます。

さて、平成20年度の観光庁の調査結果では、我が国の観光の経済効果は、生産波及効果を含めると51.4兆円、430万人の雇用創出の効果があったと言われております。

今年は上野動物園にパンダが復活し、また東京スカイツリーも完成が間近に迫るなど、台東区の観光にとって、さらなる飛躍への大きなチャンスが訪れます。

観光の振興は、区内産業の発展や地域の活性化の観点からも、台東区の重要課題でございます。

この大きなチャンスを実りあるものにするためには、官と民の垣根を超えて、また自治体と自治体との境目を超えて、連帯や連携を強化することが必要であります。

連帯と連携の強化は、時として時間がかかる場合がありますが、私ども台東区議会は、「にぎわい いきいき したまち台東」の実現という志のもと、各方面とも議論を深め、活気に満ち溢れた台東区をつくってまいり所存でございます。

うさぎ年は「飛躍の年」とも言われております。

平成23年が、区民の皆さまにとって、幸多き年であるとともに飛躍の年となりますことをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。